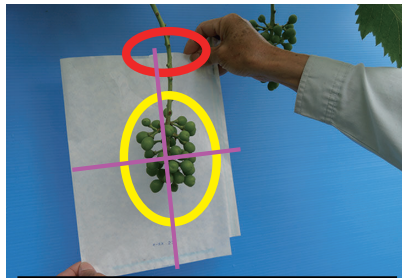


# ぶどう袋かけ作業 マニュアル

作業内容：ぶどうの房を袋に入れ、袋の口を針金でとじる



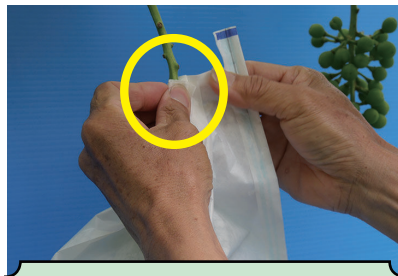
1. 袋の中央に房がくるように袋を巻き付ける軸の位置を確認する。



2. 針金部を利き手で持ち、袋の口を広げて房を中に入れて閉じる。



3. まず、袋上部の針金部のないう方を軸まで寄せる。



4. 利き手と反対の手で、寄せてきた紙と軸を押さえる。



5. もう片方（利き手側）の袋上部を軸まで寄せる。針金部は残す。



6. 袋の口をひとまとめにして軸に密着させる。ここがゆるいと次の工程が難しくなります。



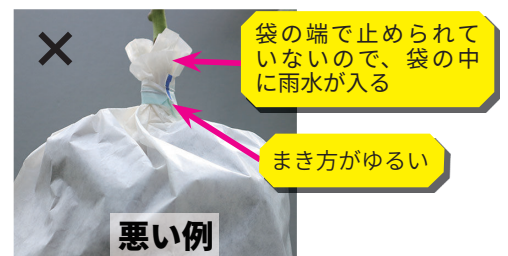
7. 密着させた袋の口にすき間がないようにして、針金部を軸に巻き付けて止める。



8. 水や虫が入らないように袋の端をきっちり止める。針金部はくるくる巻となる。



9. すき間がないか、ゆるみがないか確認する。完成！



## ● 作業スキルや精度を高めるために ( 指導員が心がけること ) ●

- ① 作業に参加する前には、間引きした房などを使って作業の練習を行きましょう  
指導員の指示がなくても自力で遂行できることを確認しましょう  
※遂行: 立ったままの姿勢で「房を袋に入れ、袋上端を針金で塞ぐ」行程 (事前準備)
- ② 作業のしやすい房 (房に葉などが重なっていない、足元が安定しているもの) から作業を開始しましょう (段階付け)
- ③ 作業に慣れるまでは作業スピードよりも正確性を重視して行い、指導員がしっかり固定・袋上端を塞ぐことができていることを確認しましょう (段階付け)
- ④ 定期的に休憩時間を取り、作業再開時にはポイントを再確認しましょう (集中力の維持)
- ⑤ 指導員は仕上がり状況を随時確認して、必要に応じてアドバイス・モデリングを行きましょう (精度の向上)
- ⑥ 農家に同じ園地で作業を行ってもらい、作業の確認やできていることを中心に声かけを行きましょう (意欲の向上)

## ● マニュアルの仕様にあたっての注意事項 ●

- ① 使用する袋の種類は、産地やぶどうの品種で異なります  
針金部の切込みの有無、紙の硬さの違いなどもさまざまです  
依頼のあった農家が使用する袋で、事前練習を行きましょう
- ② ぶどうの房には、手で触れたり、頭 (帽子) をぶつけないように気をつけましょう。  
果実の表面をうっすら覆っている白っぽい粉のようなもの (果粉) がとれると商品価値が落ちます
- ③ 袋の針金部の先端が、指先に突き刺さることがあるので気をつけましょう
- ④ 袋かけ後、ぶどうの粒は大きく膨らみます。房の位置が袋の中央になるようにします

協 力 (一社) 岡山県作業療法士会  
岡山県農林水産総合センター普及推進課  
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団  
作 成 岡山県農林水産部農産課  
岡山県農福連携サポートセンター